

## 1. 新「学習指導要領」での「主体的・対話的で深い学び」の提起

### ①日本型高学力の限界 PISA ショック (2003)

学力の3要素への転換

学校教育法 2007 改訂

第三十条 基礎的な知識及び技能を習得させるとともに、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力その他の能力をはぐくみ、主体的に学習に取り組む態度を養うことに、特に意を用いなければならない。(中学校・高校も準用)

### ②2017 年学習指導要領改訂

総則:我が国の優れた教育実践に見られる普遍的な視点である「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善 (アクティブ・ラーニングの視点に立った授業改善)

カリキュラム・マネジメント:各学校においては、生徒や学校、地域の実態を適切に把握し、教育の目的や目標の実現に必要な教育の内容等を教科等横断的な視点で組み立てていくこと

### ③問題点 改訂の経緯

2030 年の未来を前提⇒知識基盤社会・Society5.0 などの未来社会論からの脅し

## 2. 突如飛び出した GIGA スクール構想

「GIGA スクール構想について」 文科省 2020 年 7 月

「1人1台端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備することで、特別な支援を必要とする子供を含め、多様な子供たち一人一人に個別最適化され、資質・能力が一層確実に育成できる教育 ICT 環境を実現する」

## 3. 構想を推進しているのは誰か

①経産省「未来の教室」構想:Ed Tech 企業とよばれる教育情報産業と深く結びついて、実証事業⇒学校をこれら Ed tech 企業の市場開拓の場に 「GIGA とは」=今後学校に流れ込む大容量データを象徴する「ギガバイト」

②教育再生実行会議 第 11 次提言:「世界で活躍する革新的なグローバル人材の育成を推進するための基盤の構築」

参考資料 1 教育再生実行会議 第 11 次提言

[https://www.kantei.go.jp/jp/singi/kyouikusaisei/pdf/dai11\\_teigen\\_1.pdf](https://www.kantei.go.jp/jp/singi/kyouikusaisei/pdf/dai11_teigen_1.pdf)

参考資料 2 経団連 Society 5.0 -ともに創造する未来-

<https://www.keidanren.or.jp/policy/society5.0.html>

#### 4. 「個別最適な学び」の罫

①子どもの興味関心や学習の到達度は、日々の生活のデジタルポートフォリオや授業のなかで自動的に蓄積される学習履歴、ドリル・テストの解答傾向を AI 解析・評価・管理⇒子ども・若者を学習履歴によって振り分け、「身の丈に合った」学習課題への取り組みへ

②学習履歴の国家・経済界による「利・活用」

⇒学習履歴とそれにもとづく評価がデジタル・タトゥーのように一生涯つきまとう

「すべての子どもが値踏み・格付けされ、それを押しつけられる入り口（Grade Imposed Gateway for All）」としての学校

参考資料 3 【大阪市】次世代学校支援事業ガイドブック

[https://www.mext.go.jp/content/20200515-mxt\\_jogai02-100003155\\_001.pdf](https://www.mext.go.jp/content/20200515-mxt_jogai02-100003155_001.pdf)

#### 5. GIGA スクール構想＝学校「解体」論？

①『「未来の教室」ビジョン 経済産業省 「未来の教室」と EdTech 研究会 第2次提言』（経産省「提言」）、目指すべき「未来の教室」の実現に向けた柱⇒「学びの自立化・個別最適化」のほかに、「学びの STEAM 化」。

S (Science: 科学)、T (Technology: 技術)、E (Engineering: 工学)、M (Mathematics: 数学) そこにリベラルアーツ (Arts) の要素を編み込んだ学び

②「提言」＝「一律・一斉・一方向型の授業形式」、「同じ学年の子ども達が同じ教室に同時に集まり」、「標準的な授業時数を一律に履修する」現在の学校制度は時代遅れ

⇒「教師や民間教育サービス、企業のエンジニア、大学等の研究者等の協力を集め、STEAM 学習プログラムの開発とそのデジタルコンテンツ」をインターネット上に置く STEAM ライブラリー

参考資料 経済産業省 「未来の教室」と EdTech 研究会 第2次提言

[https://www.meti.go.jp/shingikai/mono\\_info\\_service/mirai\\_kyoshitsu/pdf/20190625\\_report.pdf](https://www.meti.go.jp/shingikai/mono_info_service/mirai_kyoshitsu/pdf/20190625_report.pdf)

#### 6. お仕着せの「最適な学び」を乗り越える

「主体的・対話的で深い学び」と、GIGA スクールの「個別最適な学び」とは、その本質において共存できない。

ex. 国際的な新教育運動の一翼を担ったジョン・デューイの言葉 「子どもが学習の主体となるためには、興味をその軸に据えなければならない」

・「対話というコミュニケーションへの興味」「探求という何かを発見することへの興味」「何かをつくるという制作への興味」そして「物事を芸術的に表現することへの興味」は、「子どもに内在する自然の資源」